

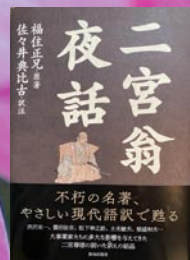
信州戸隠・飯綱
いのちの森 水輪
で迎えるお正月

特別ゲスト出演
日本思想史家
大阪大学名誉教授
子安宣邦先生
「神と靈魂
国学における
魂の救済について」

特別ゲスト出演
国連世界平和
人権大使
奥健一郎先生
「二宮金次郎
霊性文明の夜明け
焔創りは人創り」

ほんとうの自分に会える
新しい人生の
始まり

Yuhō Shimizu



2023年12月28日(木)～2024年1月6日(土)



清水 友邦 先生

イーハトーブ心身統合研究所 所長
1953年、岩手県盛岡市生まれ。子供の頃から自分が誰なのか疑問を持ち、探求の道に入る。80年代から世界各地の聖地を巡礼、フランス、イタリア、スペイン、アメリカ、中国、チベット、東南アジア、インドの仏跡、ヨガの聖地リシケシ、Osho マルチバーシティ、ラマナ・マハルシのアシュラムなどを訪れる。その間、ヨガ、気功、瞑想、ボディワーク、呼吸法などの各種身体技法を学ぶ。現在、全国各地で呼吸道のワークショップを展開中。著書「覚醒の真実(ナチュラルスピリット刊)」「よみがえる女神(ナチュラルスピリット刊)」



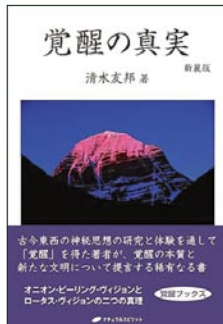
清水 プラダ 氏

ソウルサウンドライアー / クリスタルボウル奏者 / 呼吸道インストラクター 岩手県生まれ。20代後半に自然食カフェをオープン。30代から世界各地の聖地を巡礼。現在は自ら発生する声を身体に響かせるライブソング・呼吸・瞑想・色彩・香を融合したホリスティックなワークを展開中。



松井久子 監督 作家

映画監督 作家
1946年、岐阜県飛騨生まれ、東京深川育ち。早稲田大学文学部演劇科卒業。雑誌のフリーライター、俳優プロダクションの経営を経て、1985年39歳のときTV番組の制作会社(株)エッセン・コミュニケーションズを設立。その後10年間にプロデューサーとしてテレビドラマやドキュメンタリーを40数本制作。50歳の時、芥川賞小説『寂寥郊野』を原作、脚本を新藤兼人に依頼して、アメリカ・ルイジアナを舞台に撮った『ユキエ』で映画監督デビュー(1998)。2作目『折梅』は公開から2年で100万人の観客を動員した(2002)。2010年には、企画から7年の歳月をかけて完成させた日米合作映画『レオニー』で製作・脚本・監督の三役を務め、世界的彫刻家イサム・ノグチの母の生涯を描く。2013年春からはアメリカをはじめ世界各国で公開された。その後ドキュメンタリー映画『何を怖れる フェミニズムを生きた女たち』(2014)、『不思議なクニの憲法』(2016)を発表。一貫して「愛」、「家族」、「自由」、「解放」、「フェミニズム」などをテーマに、同年代の女性たちに向け作品を発表してきた。2021年2月には、セクシュアリティをテーマに書いた小説『疼くひと』で74歳の作家デビュー。2022年11月には自身の晩年の再婚を題材に「老いの希望」を描いた小説『最後のひと』を上梓。2作ともベストセラーになっている。



主催：水輪の会

〒380-0888 長野県長野市大字上ヶ屋 2471 番地 2198 TEL 026-239-2630 FAX 026-239-2736

E-mail suirin@suirin.com ホームページ <https://suirin.com>

twitter <https://twitter.com/suirin1> facebook <https://www.facebook.com/shiozawa.midori>



松井久子監督 映画上映作品と講演

子安宣邦先生

レオニー

「国境を越え、時代を超えて、世界中の人々の心に届く映画が作りたい…」
『ユキエ』『折り梅』で、のべ200万人の観客動員を果たした松井久子監督が夢を掲げ、7年の歳月をかけて完成させた日米合作映画『レオニー』。20世紀初頭のニューヨークからカリフォルニア、明治大正時代の東京・横浜・茅ヶ崎、そして高松・札幌…。日米の美しい風景の中に繰り広げられる、哀しくも力強い一人のアメリカ女性、世界的な彫刻家イサム・ノグチの母レオニー・ギルモアの物語。イサム・ノグチの伝記を読んだ松井久子が、母親レオニーの生涯に感銘を受け企画。その後14稿を重ね書き上げた渾身のシナリオをもとに、世界各地で活躍するフィルムメーカーたちが集結。人種の違い、文化の壁を越えた理想的なチームワークで、日米10都市にわたるロケ地での撮影が敢行された。日米の豪華キャスト・スタッフによる、製作費13億円の超大作。

折り梅

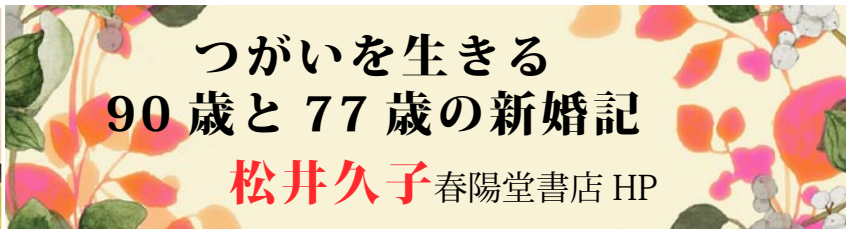
それは、ある日突然、平和な家庭にふりかかった…。名古屋郊外のベッド・タウン、愛知県豊明市。サラリーマンの夫・裕三とパート勤めの妻・巴、中学生と小学生の子ども二人の4人家族に、夫の母・マサコが同居することになった。ところがまもなく、マサコが変調をきたし始め、病院でアルツハイマー型痴呆症と診断される。崩壊しかけた家族が、思いがけない展開とさまざまな葛藤を経て見事に再生してゆく物語に、人間の無限の可能性が描かれる。原作は愛知県・豊明市在住の主婦 小菅もと子著『忘れても、しあわせ』（日本評論社）。全国で観客60万人以上を集めた『ユキエ』の上映会で、感動した原作者が松井に手渡した同書をきっかけに映画製作が始まる。実話に基づいたストーリーは、老いと介護という高齢化社会の日本で誰もが抱える問題をテーマに展開。多くの共感を呼び、公開から20年を超えてなお日本各地で自主上映会が重ねられている。

ユキエ

アメリカ南部ルイジアナ州、バトンルージュ。ユキエが戦争花嫁として海を渡ってこの町へやって来てから、いつの間にか40余年が過ぎていた。ユキエは、空軍パイロットで日本に赴任していた夫リチャードと出会い海を渡る。日本では祝福されなかった結婚。けれど、ふたりの息子に恵まれ、愛する夫と家族で励まし合い、愛を尽くし、日々を生き抜いてきた。しかし、ユキエが突然、不治の病といわれるアルツハイマーに侵されてしまう…。愛する妻の心から40年間築き上げてきたふたりの、そして家族の人生の記憶が少しずつ、失われてゆく…。「これはあなたたちへの"ゆっくりしたお別れ"だと思うのよ…」と言うユキエ。アルツハイマーになったからといって、失うものばかりではないのだ。主題歌の『ユア・マイ・サンシャイン』は、元ルイジアナ州知事でもあるジミー・デビスが、97歳にしてこの映画のために歌ったもの。

神と靈魂

日本人にとって、神と靈魂(たま)とは何か？
なぜ、「カミ」と呼ぶのか？
「あの世」はどこにあり、靈魂はどこに落着くのか？
私がこの書を「神と靈魂」として、宣長による「神」の成立と、篤胤による「靈魂」の行方の考察をもって構成しようとしたのは、近代日本の神道あるいは神道学が、何を軸として形成され、何を拒絶し、あるいは何を失っていったのかを知るためでもあります。私たちは近代に先立つ宣長と篤胤のこの二つの神道・神道学を見ることによって、近代の神道・神道学についてのさまざまなことが問われてくるでしょう。
子安宣邦先生プロフィール
1933年生まれ。東京大学文学部卒業。東京大学大学院人文科学研究科(倫理学専攻)修了。文学博士。大阪大学名誉教授。日本思想史学会元会長。『古事記』講義「高天原神話」を解説する』等、著書多数。



「対等な関係」が私にはとても貴重に思えた

『天からのギフト』水輪の出会いに寄せて

夫である思想史家の子安宣邦氏

水輪をはじめてお訪ねしたとき、塩澤みどりさんは言われました。「人生とは、深さを知ることなのです」と、元聖路加病院長・日野原重明さんのお言葉を引用されて。そう、私が生きてきた年月も、まさに「人生の深さを知る旅」だったと思います。また自分は「女性」に生まれたせいで、「男性」よりも少しだけ、深さを学びやすかったとも思っています。社会的な抑圧をより受けてきた分、女の人生は学ぶことが多く、深いです。私はこれまで、人生のその時々大切に思ったこと、考えるべきことに行きあうと、それをテレビドラマや映画という形にして、人びとに届けてきました。そうしているうちに、全国各地に共通の問題意識を持つ沢山のお友達ができていきました。そして70代半ば、仕事の場で「あなたはもう要らない」と外される年齢になったとき、思いがけないことが起きました。まさに『天からのギフト』としか思えないような出会いがあったのです。「おひとりさま」で人生を終えるものと思い込んでいた私たちが、2022年の夏、89歳と76歳で結婚をしたのです。晩年になって、もう一度「生き直す」選択をして、更に人生の深さを知ることとなりました。やがてくる2024年のお正月、神様から選ばれた場所「水輪」で、私が過去につくった映画を観て頂きながら、人生を語り合いながら、皆さんと、歓喜の出会いを果たせますようにと願っています。大晦日に水輪でお会いしましょう。

清水友邦

本当の自分と偽りの自分
瞑想と意識 探求の道

魂の暗夜

宮沢賢治のまことの幸福

縄文の女神 母系社会

治癒の秘訣

清水プラダ

ソウルサウンドライアー

呼吸の響き

Yuho Shimizu / Prada Shimizu

清水友邦先生

呼吸道と魂の響きソウルサウンドライアー

清水プラダ氏

現代の私たちは人類が辿って来た道の全体を俯瞰する位置に立っています。一人一人の意識が人類の意識を集合しています。個人の意識も人類史と連動して、かつてないほどの根本的な変容を迫られています。私達は人類史の大きなターニングポイントを迎えています。古い世界は終焉を迎え、新たな文明に向かって再生が始まっています。新しく誕生する前の産道を潜り抜ける最も困難な変容の時期です。

苦しみが生きて自我の枠組みが激しく揺り動かされる状態は自分を大きく成長させるチャンスです。古い自我を超えようとする時には分離した影との境界で激しい葛藤が起きます。今までの古い自我では適応できないので新しい環境に適応するためには嫌でも古い自我は脱皮しなくてはならないのです。

沈黙して自分の心の動きを見守っていると、現在よりも過去や未来に心がさまよっていることに気がつきます。意識が今ここにあるとすべての出来事が瞬間に現れては消えていることがわかります。すべては過ぎ去ります。すべての現象に実体がありません。

偽りの自我は今ここにいません。

苦しみを取り去る方法は思考と一体化している偽りの自己に気がついて、今ここに在る純粋な意識と繋がることです。しかし、物心が付いてからずっと思考と一体化しているので思考を見守るのが難しいのです。それには体の感覚に注意を向け常に変化している呼吸から始めるのがやさしいのです。身体に生命エネルギーが循環して流れている状態が健全な状態です。

緊張が発生して生命エネルギーの流れが滞ると問題が発生します。いまここに気づくと緊張が解放されてエネルギーの流れが改善されます。呼吸道は身体感覚の自覚を育てて、微細な領域も自覚できるようにしていきます。

年末年始は水輪という宇宙船に乗って、深い闇に包まれた内宇宙を探検して光を発見する冒険の旅にでます。宇宙船の燃料は呼吸です。世界がマーマ(実体のない幻影)だと見抜くことができればどんな困難な事態が訪れても勇気と力が湧いて、光の道を歩むことができるようになるでしょう。



水輪で、アンドレアス・レーマン氏が考案したソウルサウンドライアーを奏でさせていただきます。このライアーは、ハーブや琴にも似た弦楽器です。癒しの周波数と言われる 432Hz、

音の振動が体内の水分に伝わり、共鳴し身体を整えてくれます。調和した身体は、再び美しい交響曲を奏で、平安な心に導いてくれることでしょう。一緒に響きあいましょう。



特別ゲスト

国連世界平和和人権大使

奥健一郎先生

12月28日夜 呼吸道とライアー
清水友邦先生 清水プラダ氏
講義とお話 (日課)
7:30 ~ 9:30 呼吸道ワーク
10:00 ~ 11:00 食事
11:30 ~ 12:30 お話 演奏

12:30 ~ 特別ゲストお話し会
14:00 ~ 自由時間 軽食 入浴
17:00 ~ 夕食・懇親会
松井久子監督 上映とお話
12月31日
18:00 ~ レオニー 2時間 15分
女性とリーダーシップ

映画の現場で見た日米の違い
1月1日
18:00 ~ 折り梅 1時間 51分
認知症は怖れる病気ではない
1月2日
18:00 ~ ユキエ 1時間 33分
ありのままの自分を生きる

1967年宮崎県生まれ。早稲田大学卒、大蔵省(現・財務省)で国際金融業務等に従事。米国へ公費留学、ミシガン大学大学院応用経済学修了。大蔵省退官後、松下幸之助氏の創立した(公財)松下政経塾へ入塾。その後、中村天風公財団理事・事務局長等を経て、稲盛和夫氏創設国立鹿児島大学稲盛アカデミー教授に就任。大阪府泉大津市教育委員会教育委員、欧州連合所属国際外交団、国連世界平和協会人権大使、日本国際警察協会サポート会員。松下幸之助の説いた「天地自然の理」と、二宮尊徳に相通するものに関心を持つ。



いのちの森水輪で迎える清々しい初日の出

年末年始のご案内

- 清水友邦 清水プラダ
- 呼吸道とお話
- 魂の響きソウル サウンドライアー
- 松井久子監督
- 映画上映とお話
- レオニー
- 折り梅
- ユキエ

- 水輪特製健康メニュー
- 31日おせち料理
- 元旦お雑煮、正月料理
- 白米玄米畑でとれた無農薬米
- ホットストーンリフレクソロジー有料



樹齢四百年の杉並木



宝光社

二七〇余段の石段を登り出会う荘厳な社殿。神仏習合時代の面影が強く残る寺院式建築で、康平元年（一〇五八）創建。江戸末期改築。天表春命（あめのおうはるのみこと）を祀ります。商工技芸の隆盛、安産、厄除け、家内安全を祈ります。

火之御子社

天照大神に天岩屋よりお出ましたために、天岩屋の前で、艶やかな舞いを舞われた天細女命（あめのうすめのみこと）を祀ります。世の中が明るくなること、また舞楽能の上達、開運、火防を祈ります。

奥社

戸隠神社の本社。嘉祥二年（八四九）に学問行者によって開山されたといわれ、天の岩戸を開き戸隠へと投げた天手力雄命（あめのたじかたのおのみこと）を祀ります。五穀豊稔、開運、心願成就を祈ります。参道の苦むす杉並木が、深く長い信仰の足跡を感じさせます。

九頭龍社

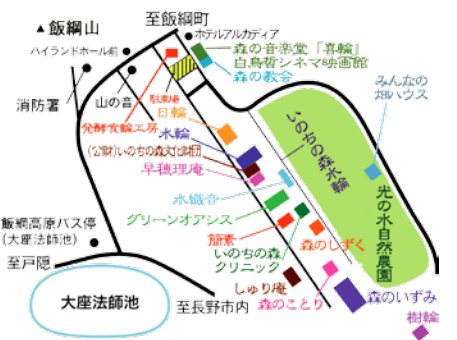
奥社本殿左にあり戸隠の地主神として信仰され続けている九頭龍大神（すりゅうのおおのみこと）を祀ります。命の源である水を司る神に感謝し、水の恵み、五穀豊稔、心願成就を祈ります。

中社

天岩屋に隠れた天照大神にお出まし願うため、天岩戸開神楽を考えられた智慧の神様・天八意思兼命（あめのやこころおもいかねのみこと）を祀ります。三本杉や古木に囲まれ豊かな雰囲気。学業成就、開運、家内安全を祈ります。

参加要項

- 会場 信州飯綱高原
- 心と体といのちのリトリートセンターいのちの森「水輪」
- 〒380-0888 長野県長野市大字上ヶ屋2471番地2198
- とき 令和5年12月28日（木）～令和6年1月6日（土）
- 参加費
 - ①1泊2食につき25,000円（税込）～（1泊から可）
 - ②14時日替り軽食1,000円（税込）別途（税込、会場、宿泊、夕朝食、暖房、映画上映、講師料、等含む）
 - *全館禁煙になります。・チェックイン14時～チェックアウト12時 朝食10時 軽食14時 夕食18時
 - ③個室料別途税込（1泊1名様）3,500円④子供料金はお問合わせ下さい。
 - ⑤尚キャンセルの場合、参加費のご返金は出来ませんのでご了承下さい。（代理参加・次回参加可能）
- 無料駐車場あり●バスは、アルピコ交通路線バス【70】【急行】ループ橋経由戸隠キャンプ場行 長野駅からハイランドホール前下車（790円）徒歩10分。
- タクシーは、各自でご予約下さい。【中央タクシー 026-282-7777】
- ご予約時に「水輪」とお伝えください。水輪定額タクシー長野駅⇄水輪 6,500円でご利用できます。
- お申込 下記の「申込書」で電話、FAX、または郵送にて「水輪」までお申込み後、1週間以内に参加費をお振込下さい。
- 振込先 みずほ銀行長野支店（普）1620273 水輪の会 塩澤早穂理
- ◎参加費振込確認後、順次正式受け付けとなります。



申込書「年末年始のご宿泊」

該当項目に○をご記入下さい カーナビ検索は水輪（026-239-2630）で。

TEL：026-239-2630 FAX026-239-2736

申込日 月 日 / 申込締切 宿泊日より10日前

ふりがな 氏名 男/女 年齢 ご職業 携帯電話

〒 住所 e-mail TEL FAX

お申込み日程： 年 月 日～ 年 月 日泊数（ ）泊 / 到着予定時刻（ ）日（ ）時予定

予約人数（ ）人 お連れ様氏名（ ） / 食事アレルギー（有・無）食品名（ ）

1,000円 3,500円
14時軽食希望（有・無） / 個室希望（有・無） / 振込先（みずほ銀行） / 振込名義人（ ） / 振込日 月 日宿

泊費計算例（25,000円＋個室料）×泊数×人数＋軽食×日数×人数＝合計金額 ◎お申込みのきっかけ 旅行/インターネット/その他